

今に伝わる江戸の美意識を探る

〜江戸天下祭・きもの〜
道明三保子 「江戸のきもの〜受け継ぐ美とこころ〜」

主催／さいたま絹文化研究会

協力／江戸総領守神田明神

2020年
3/8日
13:00~16:20
(12時半開場)

江戸と武州をつなぐ絹のみちは、秩父や川越の祭りを華やかなものにし、歌舞伎や江戸文化などをもたらしました。今でも秩父祭には屋台で歌舞伎が演じられ、川越の蔵造りの街並みは、かつての日本橋の面影を残すといわれます。江戸総領守の神田明神にて「江戸天下祭」と武州のつながりに思いを寄せ、現在のきものに伝わる「江戸」を感じる機会としたいと思います。

◆講演



40分

講演①
13:00~
神田明神 権禰宜
岸川 雅範氏

「江戸天下祭の昔と今〜神田祭を中心に〜」
昭和49年東京都生まれ。
博士(神道学)(國學院大學)。



60分

講演②
14:00~
文化学園大学名誉教授
道明 三保子氏

「江戸のきもの〜受け継ぐ美とこころ〜」
文化学園服飾博物館元学芸室長・専攻はアジア
染織・服飾史。
350年の歴史を有する組紐「道明」9代目当主夫人。

◆神田明神正式参拝 11:00

参拝ご希望の方は10時45分までに祭務所地下
参集所にて受付をお済ませください。
終了後、神田明神資料館をご案内します。

◆交流会 15:50~

日本髪実演(日本髪研究家・関場明子氏) 道明組紐展示
江戸小紋・黄八丈・唐棧などのきものでご参加のかたを
ご紹介いたします。ぜひきものでご参加下さい。
(時間の都合によりご希望に添えないこともあります)

定員

事前申し込み制
100名(定員になり次第締め切り)

参加費

一般500円 さいたま絹文化研究会会員無料
(当日入会の場合は参加費無料 年会費1000円)

お申込み

FAX及びe-mailにてお申込みください
申し込み期間 会員/2月1日より 一般/2月4日より
FAX: 049-277-8491(氷川神社社務所)
E-mail: shamusho@hikawa.or.jp

主催団体:さいたま絹文化研究会

※秩父神社・高麗神社・川越氷川神社による文化団体です。(一社)高麗1300 NPO法人川越きもの散歩が協力しています



会場はこちら
祭務所地下です

場所

神田明神
祭務所地下 参集所
東京都千代田区外神田2-16-2



さいたま絹文化フォーラム Vol.5 申し込み書

さいたま絹文化研究会 事務局(川越氷川神社社務所) FAX.049-277-8491 TEL.049-224-0589

お名前	会員	一般
	(どちらかを開んでください)	
ご住所		
TEL	FAX	メール

受付確認の連絡は致しません。悪天候で開催が危ぶまれる場合は、お手数ですが事務局までお問合せください。